

「松ヶ丘の点景 No.23」 R7.10.22

体育祭は午後に強風が吹きましたが、天候に恵まれ10月9日(木)に終わることができました。そして体育祭に続いて、2年生が10月14日(火)～16日(木)の3日間、「県外視察研修」に出かけ、今の学校での「学びの先」について見識を深めてきました。(S・E科は関西方面、A科は福岡・熊本方面、G科は福岡方面)

「読書・スポーツの秋」、「収穫の秋」と言われますが、農場でもその時期を迎え、水田での稲刈り実習で上手なコンバイン操作を学びました。生徒も慣れ上手になるにつれ、自信と誇りを持ち大きな機械を操作する若者の姿は、誰が見ても、とても頼もしく・嬉しく感じるものです。

また15日午後、「林業カフェ」と銘打ち、「将来の林業就業へのキッカケづくり」を目的として、農林振興センターや農林大学校のご協力で、A科1年生が「意見交換会」や「チェンソー体験」をし、日常生活では決して経験できない貴重な学びでした。日本には約50,000人、島根県には約1,000人の林業従事者がいるそうですが、他産業に比べればとても少ないです。世間では中山間地域が廃れることで境界が薄れ、酷暑により山の恵みを享受できない野生動物が、冬ごもりを前に人間との共存に苦しんでいます。

11月15日(土)開催の翔陽祭に向けて、加工品の製造実習も始まり、にわかに学校も各所で忙しくなりました。



